

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100606		
法人名	株式会社 大栄		
事業所名	グループホーム さくらの里		
所在地	新潟県新潟市南区茨曾根1723-1		
自己評価作成日	令和2年2月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1590100606-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1590100606-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和2年3月25日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設周辺には桃や梨の畑が広がり、春には一面に桃の花が咲きます。入居者様は静かな環境の中、季節を感じながら穏やかに過ごされています。地域の方とも交流を持ち、地域のお祭りや文化祭に参加したり、施設に訪問してくださる方とお話しをする機会もあります。交流を持つことで地域で生活していると感じながら過ごされています。入居者様個々のご要望を引き出し、そこに真摯に向かい合うことで安心して生活できるように各職員が努力しています。信頼関係を築き、穏やかに生活できるホームを目指しています。平成30年5月に1ユニット増設され、ユニット間の交流での賑やかな時間とユニット内での穏やかな時間とで各入居者様が自由に過ごせるように努力しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所の取り組みについて  
「グループホームさくらの里」は、10年目を迎えるフルーツ館と昨年5月に併設されたフラワー館の2ユニットの事業所である。地域に馴染める名称にしており、施設周辺は桃や梨の果樹園が盛んで、遠くの間々も眺められる広大な景色を玄関から見る事ができる。フラワー館の増設に伴い個々の利用者の状況や職員の変動が生じ慌ただしい時期を迎えていたが、職員が一丸となって利用者ファーストの精神で支援に力を入れている。職員は理念を毎朝唱和し事業所の目標を意識しながら一人ひとりの利用者を尊重し安心できる日常生活支援に取り組んでいる。特に、地域の一員として地域住民や地域の活動をより理解し、利用者も交流できる場が増えるよう前向きに考えている。

## ○地域での交流と良好な医療連携

河川の流域の近くに位置する事業所は、ハザードマップの確認や地域の防災訓練にも参加し避難場所である小学校に地域の方と避難することになっている。すでに自治会の方の協力も得ており、今後も連携が期待できる環境が築かれている。医療受診については、本人・家族等の希望を大切に聞き取り、希望するかかりつけ医の継続が得られるように支援している。2ヶ所の医院との24時間の連絡や状況の確認が何時でも図れる。医師の往診等々の支援を受けて、利用者・家族の安心と信頼が得られていることが窺える。事業所内での看取りケアも行われ、利用者・家族からの安心とともに職員の取り組みへの学びと丁寧な支援態度が今後も期待できる。

## ○居心地のよい共用空間

ユニット毎に玄関口があり、内装の違いはあるもの何方も木材がふんだんに使用されている。明るく清潔な印象と木のもつ柔らかさが居心地よく、所々に置かれた季節の花や椅子やソファの色も室内を明るい印象に寄与している。2ユニットを繋げる多目的室は開放され、利用者も職員も自由に行き来できる環境である。畑への出入り口があり、野菜の成長を身近に楽しめる空間でもある。また、2ユニット共同でレクリエーション活動をしたり、小学生の訪問時に活用したりと様々な交流が深まる共用空間になっている。